



施設の空間構成を利用者の立場から検討！

11月14日（日）「みんなで文化交流の杜をつくる会」の第3回ワークショップが、鹿角市交流センターで開催されました。予定されている機能の空間構成について利用者の立場から検討するのがテーマです。また、今回のワークショップでは、市民みんなの施設にするには何が必要か、ニーズの把握、PRの方法等も合わせて検討されました。



時代に対応した図書館・中途半端にならないホールとは・・・

第3回のワークショップは、4つのグループがそれぞれ次のようなテーマで検討しました。

A：図書館への提案（時代に対応した図書館とは）

B：ホールへの提案（中途半端にならないホールとは）

C：子育て支援センターへの提案（市民と共に育つ施設とは）

D：市民が活用できるさまざまなスペースの提案（各施設をつなぎ交流を促すには）

Aグループでは、図書館の電子書籍など時代の変化に対応できる新しい空間や、学生が学習できる空間などの必要なスペースのほか、司書やボランティアの体制などについて検討されました。Bグループでは、音響等にも配慮した本格的なホールの実現について検討されました。ホールの利用率をあげる様々な形態が議論され、可動式座席が提案されました。また、快適に過ごせる客席環境を望む意見も出されました。

Cグループでは、既存施設との棲み分けが話題となり、人員の配置や基本構想では盛り込まれなかった新たな部屋や図書館の児童スペースとの緊密な関係を持つ空間構成の提案等があり、運営にも踏み込んだ検討がされました。Dグループには、3つの大きな機能を繋ぎ、交流を盛んにする空間の提案が求められ、展示ギャラリー、ミニレストラン、チャレンジショップなど小さなコーナーの巧みな活用法を示しました。



意見をカードに記入して分類、検討する



グループ毎に成果を発表

ワークショップはこれから次の日程で進められます。

11月28日（日）午後1時～【場所：鹿角市役所】

これからでもワークショップへの参加は可能です。参加ご希望の方は政策企画課までお問い合わせください。

このニュースへのご意見、ご感想をお寄せ下さい。

政策企画課政策推進班

TEL 0186-30-0292

学習文化交流施設

検索

E-mail : machi@city.kazuno.lg.jp

FAX 0186-30-1122